

# 18年度予算を可決

今回の議会には、平成18年度一般会計・各特別会計の予算が提案されました。一般会計および国民健康保険、介護保険の2つの特別会計については、賛成多数で、また、その他7つの特別会計については全会一致で可決しました。



予算特別委員会で細部まで審査

提出された予算案に対し、議会では予算特別委員会を設置し、委員長に青山晋議員、副委員長に高橋征夫議員を選出。審査は3日間に及び、議員からは延べ284件の質疑が行われました。本会議では、一般会計予算について、賛成・反対の討論が行われ、起立採決の結果、賛成14名、反対3名で可決しました。また、国民健康保険、介護保険の2つの特別会計については、賛成多数で、その他7つの特別会計については全会一致で可決しました。

## 提出された 予算案を審議

## 町長が予算案を提出

18年度予算編成にあたり、町長からは「歳入では、税の徴収率向上、国および都の負担金、補助金確保。歳出では事業を全面的に見直すよう職員に指示した」との説明がありました。



町長が予算案を提案



起立採決の様子（本会議）

一般会計予算における予算委員会質疑のピックアップを次ページ以降に掲載しております。

## 各会計の予算額

会計名	予算金額	前年度比
一般会計	117億5,220万0,000円	0.7%増
特別会計	国民健康保険	28億8,954万5,000円 2.4%増
	駅西土地区画整理事業	7億2,314万5,000円 17.6%減
	下水道事業	11億9,854万5,000円 4.8%増
	老人保健医療	16億1,373万5,000円 5.5%減
	介護保険	12億7,457万9,000円 0.0%
	殿ヶ谷財産区	471万2,000円 97.5%減
	石畑財産区	1,189万5,000円 96.5%減
計	箱根ヶ崎財産区	607万0,000円 97.4%減
	長岡財産区	43万2,000円 93.3%減

※予算の詳細については広報4月号に掲載されています。

## おもな新規事業

- ・人事管理システムの導入(8ページ参照)
- ・乳幼児ショートステイ事業の実施(8ページ参照)
- ・地域包括支援センター(専門家による高齢者への相談・支援の窓口)を高齢者福祉課に設置
- ・農地と担い手マッチング事業の実施(9ページ参照)
- ・インターネットを利用した図書予約システムの導入

## おもな建設事業

- ・(仮称)元狭山コミュニティセンターの建設
- ・第三小・第二中トイレ等の改修
- ・長岡地域施設建設用地(第二中東側)の取得
- ・第5分団(元狭山)車庫等の新築工事設計
- ・武道館の改修(9ページ参照)

一般会計については、次のとおり賛成・反対の討論が行われました。(要約)

賛成 高橋 征夫議員

国の補助金の削減などで、財政状況がさらに厳しい中、歳入の施策として、課税客体の捕捉と徴収率を前年以上の水準とし、さらに屋外広告物許可手数料の徴収等を計画している。一方、歳出では、土地賃貸借契約額の減額や諸施策の見直しが実施されている。いずれも長期総合計画に基づく重点施策を中心に配分され、多岐にわたる事業が網羅された予算と認める。

反対 大坪 国広議員

4月より実施される国民健康保険税と介護保険料38・9%の大幅な値上げは、収入減のなかで苦しむ高齢者を直撃、認めることはできない。待機児対策では、保育園の建設計画が第一の解決策である。学校教育では、少人数学級実現に向け、町独自でも予算化すべき課題である。栗原地区の区画整理は、八高線の複線化や新駅構想も不明確であり再検討すべきである。